

事業所名

放課後等デイサービス あしあと

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

6 日

法人（事業所）理念		<p>思いやりと助け合い ～目配り・気配り・心配り～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりとは敬意です。仕事のモチベーションを維持することや良好な人間関係を築いていく上では、思いやりの気持ちをお互いに持つことが重要です。 ・助け合いをする中で 1番大切なのは、感謝の気持ちを持つことです。お互いの欠けているところをカバーし合うことが重要です。 							
支援方針		<p>帰れる場所・頼れる場所 ～助け合い支え合う、みんなの居場所～</p> <p>ご利用されるすべての方が「ここにいたい」「ここにいていいんだ」と思える場所になってほしいと考えています。 お子さまの帰れる場所に。親御さまの頼れる場所に。ひとりで頑張るのではなく、みんなで支え合い生きることを大切にしています。一人ひとりの個性を大切に、スモールステップでお子さまの得意分野を見つけ伸ばしていきます。</p>							
営業時間		平日	9 時	00 分	18 時	00 分	送迎実施の有無	あり	
		学校休業日	8 時	30 分	17 時	30 分			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時には、毎回体温測定をし健康状態を確認する。感染予防及び清潔を保つための手洗い（消毒は必要に応じて）の習慣化 ・おやつを提供を通じて、様々な形態や味の食べ物を食べる経験を積ませ感覚を刺激。食事の楽しさや食事のマナーやルールを学び、一定時間の着座を身につける。 ・食事、着替え、排泄など、個人の自立度を把握し、発達段階に合った助言や援助をしながら成長発達を促す。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズトレーニングや目とからだの遊び、園芸活動などを通じて、五感を刺激し、体力づくりや運動能力の向上、触覚の改善、前庭感覚の向上、固有感覚の向上を図る。 ・声の大きさについての視覚化と職員の指示を繰り返す訓練をし、感覚の偏りに対する環境を整える。 ・スモールステップで、できることを増やし成功体験を積み、個人の発達段階にあった助言や援助をしながら成長発達を促す。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールの視覚化し、活動の見通しを良くして自分で時間を管理し、予定に従って行動する能力を養う。不安やストレス軽減にもつながる。 ・一年を通して季節に合った行事を体験することにより季節の流れや時間の流れを感じる。 ・レクリエーションや目とからだの遊びを通じて、協調性や柔軟性、忍耐力を養い、記憶力や判断力などの認知能力の向上を図る。 ・個人の発達段階にあった助言や援助をしながら成長発達を促す。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・英語に触れ、異文化理解を深め、新しい言葉を学ぶ喜びを味わう。 ・表情について視覚化と訓練を繰り返し、他者とのコミュニケーションを円滑にする豊かな表情を身につける。表情は言葉以上に感情を伝える重要な手段である。 ・レクリエーションや屋外活動での遊びやゲームを通じて、他者に自己の意志を伝える練習をし、伝わった時の喜びを味わう。 ・個人の発達段階にあった助言や援助をしながら成長発達を促す。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と関り人間関係を構築する。継続的に関わることにより、信頼関係を継続し安心感を得る。 ・ソーシャルスキルトレーニング（SST）や、他の利用者との関わりを通じて、あいさつや言葉づかい、話の聞き方など学び、良好な関係を構築し、社会性スキルを磨く。 ・自分の中にある感情に名前を付ける練習を促し、感情の種類を増やして自己表現を豊かにすることで、自己理解とコントロールを身につける。 ・近隣施設、児童館、公園などの地域に交流し、社会性スキルが身につくよう、個人の発達段階にあった助言や援助をしながら成長発達を促す。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に一度のモニタリング時期に加え、送迎時に保護者への活動報告を通じて、個人の日常生活の変化にいち早く気付きサポートしていく。 ・ホームページやSNS、お便り等で最新情報を配信し、共有を図る。さらに相談窓口を設け、保護者からの連絡やご家族の生活状況、お困りごとを聴取する機会を作る 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・学校や相談支援専門員との日常的な連携に加え、特に行事等の際には、説明の方法や促し方について共有を図る。 ・就労支援（A/B）との連携を図り、職場体験や交流を通じて、ライフステージの切り替えを見据えた活動を行う。 	
地域支援・地域連携		公園、近隣施設、児童館等の利用で、健常者や地域住民との交流を図る。 地域連携協議会への参加				職員の質の向上		職員の各種勉強会や研修への参加 資格取得、研修費等の支援あり	
主な行事等		【月間支援プログラムにて実施】●キッズトレーニング（体幹・力加減・判断力）●目とからだの遊び（ビジョントレーニング）●近隣施設、児童館、公園など屋外活動 ●園芸活動（リラック、社会性効果）●レクリエーション（SST・LST含む）●季節の行事（節分、花見、七夕、ハロウィン、クリスマス、誕生日会など／創作活動含む）							